



二階堂 和美さん

心に響く歌声

3月に私が趣味で関わっている、大竹市民吹奏楽クラブの演奏会が行われました。この演奏会の中で、映画「かぐや姫」の主題歌を歌った「二階堂和美さん」が心に響く歌声を聞かせてくれました。

二階堂さんは、大竹市内の浄土真宗のお寺の娘さんで、大竹市在住で音楽活動と僧侶としても務めておられます。皆さんも、テレビの映画紹介で一度は聞かれたことがあるのではないのでしょうか？

楽しい歌など何曲も聞かせていただきましたが、やはり映画の主題歌となった「いのちの記憶」という曲は、本当に心に響く歌声でした。今でも「今のすべては過去のすべて 必ずまた会える 懐かしい場所」のフレーズがよみがえります。(啓)

★イベント案内★

①大竹ゆめタウンリフォームフェア

日程：4月19日(土)・20日(日) 10:00~16:00

恒例の、大竹ゆめタウンでリフォームフェアを開催します。もちろん、キッチン・トイレ・ユニットバスなど新商品も勢揃い！スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしております。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

②ゲイナンハウス廿日市店 移転8周年イベント

日程：6月下旬 会場：廿日市店(予定)

皆様方に喜ばれる企画を、宮本店長が考え中です！

お待ち
してます！



西村大竹店店長

不動産の困り事解決します

ご案内

(株)アクセスさんとタイアップして、不動産に関するサービスを行っています。昨年、不要になっていた土地の処分の相談を受け、予想以上に早く処理することができ、大変喜んでいただきました。お気軽にご相談下さい。

ちょっと聞いてみたい
こんなお困りごとは有りませんか？

子供との同居で自宅
を処分したいけど…

空家になった実家を貸したり
処分したいけどどうすれば…？

夫婦では広すぎて買い替える
考えたい…

お問い合わせはゲイナンハウスまで
お気軽に!

協力会社

株式会社 アクセス

広島県知事(1)10028号
大竹市小方1丁目19-13
☎0827-28-5902



「住まいの困った」は
ゲイナンハウス
大竹店・廿日市店共に

フリー
ダイヤル

0120-505-375

ホームページ
アドレス <http://www.geinan-house.co.jp>

最後までお読みいただき有難うございました。次回は7月の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。

いつもお世話になっている皆様へ



住まいる通信

H26.4



河野

今年の春は寒の戻りがあったりして、いつまでも寒い日が続きましたが、気が付けば、あれよあれよと言う間に桜が満開になってしまいました。皆さんお変わりございませんでしょうか？

さて、去る3月25日火曜日に弊社の創業者である、河野義明相談役が他界いたしました。年度末のお忙しい中、多くの関係各位の方々、そしてこの住まいる通信をお読みいただいているお客様にもご会葬いただき誠にありがとうございました。紙面で誠に恐縮ですが、厚く御礼申し上げます。

相談役は、数年前からパーキンソンのような病気で体の動きが徐々に不自由になり、一昨年の11月に喉に食べ物を詰まらせ肺炎を起こし、西医療センターに入院。その後大野浦病院で療養しておりましたが、母と私の長男の嫁、ひ孫に囲まれて静かに息を引き取りました。満85歳でした。

通夜式・葬儀には本当にたくさんの方々があついで来て、改めて相談役が生前作った多くの「ご縁」の大きさに驚いた次第です。お葬式に行くとお寺さんのご話で「故人の尊いご縁をいただき、誠に有難いことで…」とよく耳にしておりましたが、その時はあまりピンと来るものもなく、聞き流しておりました。しかしながら、この度の葬儀でたくさんの方がお悔やみを言われるための長い列を見て、自分は父が作ってくれたたくさんの「ご縁」で生かされているんだと、やっと気付くことが出来ました。何とも愚かであったと、今更ながら情けなく、そして感謝の気持ちで一杯となった次第です。

自分に厳しく、他人に優しくした父。愛妻家で、晩年は好きな園芸や家庭菜園の傍ら、母に強引に入れられた”さわやかコーラス”に初めは嫌々行っていたようですが、元来歌が好きだったのか、熱心に練習に参加し、夫婦でステージで歌う姿を見てわが親ながら「いい夫婦だな～」と思ったことを思い出します。

私も、次代につなぐためにも、しっかりと良いご縁を作っていかなければと、父の葬儀を通じて考えさせられました。(啓)

河野 義明 相談役回想記

亡くなった相談役を偲んで



昭和3年にハワイで生まれ、5歳の時に日本に戻り、岩国工業高校から海軍に入り、豊後水道で乗船していた哨戒船が沈没し、一昼夜漂流したものの一命を取り留めたと、子供のころ何度か聞かされたことを思い出します。終戦後、大竹に戻り、地元の三菱レイヨンに就職し電気技師として大竹工場、そして愛知県の豊橋工場の建設に携わりました。

42歳の時電気技師の経験を生かそうと兄弟で芸南ハウス設備を設立。高度成長期のお蔭で、順調に推移するも昭和59年に元請の建設会社が倒産し2400万円もの不渡りを受け、倒産の危機に瀕しました。私もすでに入社しており、資金繰りのために銀行などの金融機関に行き来していた姿は忘れられません。

ちょうど地元で下水道の整備が進み、それに伴っての住宅の水洗化の仕事が増え、業容も安定してきました。父は社業の傍ら、民生委員を長く務め、後年大竹市社会福祉協議会の副会長まで務めました。併せて、地元管工事業の安定化のため、大竹市管工事業協同組合を設立し、水道当番などの委託事業を受けることのできる体制も確立しました。現在も、この組合員は競合する同業者ですが、忙しいときには助け合ったりと仲良く活動しています。

平成14年に私が社長になると非常勤の相談役となり、好きだった園芸や家庭菜園に精を出し、母が以前から入っていた「さわやかコース」にも入り、進行性核上性麻痺と言う病気で体の自由が利かなくなるまでは、楽しい老後ではなかったかと思えます。 私たち家族と同居していましたので、夕食はいつも孫たちと賑やかでした。10年程前、そんな夕食の時に孫たちに向かって「じいちゃんのこれからの役目は、孫たちに“死”を見せることじゃ。これからは自分も未知の領域に入っていきが、老いて死ぬすがたを見てくれ」と話をしておりましたが、正に病気の進行とともに死に至る姿を見せてくれました。

1年4カ月も点滴だけの入院を頑張ったのは、気の弱い母に“覚悟”させるための十分な時間をとるために頑張ったのではないかと、最後まで優しい父でありました。合掌(啓)

ゲイナンハウス 旅行記

行って来ました社内旅行 “名湯一の俣温泉とレトロ門司港” 温泉と食い倒れの旅

今年は、山口県にある”一の俣温泉”へ社内旅行に行行って来ました。一の俣温泉は名湯100選にも選ばれたことのある名湯です。今年も女性陣の都合が合わず、男ばかりの旅となってしまう、行きの車中は酒で盛り上がるも、帰りの車中は飲み疲れてグッタリと言ういつもの旅行でした。一の俣温泉は名湯と言われるだけあって、透明で柔らかなお湯は良い気持ちでした。ただ、あまりにもひなびた温泉で、二次会のスナックまでタクシーで30分にはいささか閉口。でも、美味しい料理と良いお湯で、忙しい中での旅行でしたが英気を養えたのでは…顛末、ご笑覧ください。



徳山での昼食。最近お腹のあたりが立派になった西村店長の空元気姿を笑う太田君です。



夕食に出た鮑の姿焼き。熱さで身をよじる姿に、一同無言で同情するも、口に運ぶや「ウマイ!」を連呼!



翌朝の出発前のホテルでの集合写真。いや～、自分のことをさて置いて、竹内常務の頭は白くなり、普段は気付かませんが、こうやって写真を見るとそれなりに年を取ってきたんですね。西村店長も若作りですが、入社20年、体形の変化は隠せません。やはり変わらないのは、いつまでも若々しい里さんですね! こうなると、これからのゲイナンハウスは、若者3人に乞うご期待ですね



やはり社内旅行はチームワークを保つには欠かせない行事ですね! 来年はどこに連れて行ってくれるか楽しみです。再来年は創業45周年の年に当たります。5年ごとの周年の年には、積み立てたお金で二泊三日の日程で遠出の旅となりますが、念願の北海道スキー旅行は実現できるでしょうか? 年齢を考えると、そろそろリミットが近づいているので、そろそろ根回しなくては・・・(啓)



どんよりとした天気「角島」晴れてたらきれいなんじゃないかな? 観光客も居ませんでした。



とどめの、門司港でのビール。もはや一同、「はあ、酒はいらん…」